

情報セキュリティニュース vol.2

～新型コロナウイルスに便乗した標的型攻撃～

2020.05.18発行

厚生労働省が注意喚起：**新型コロナウイルス**に関する標的型攻撃の増加

新型コロナウイルス感染症に便乗した標的型攻撃が急増しています。標的型攻撃は、件名、メールアドレス、本文等に不審な点がある場合が多く、これらの内容を十分に確認する必要があります。URLが記載されている場合や添付ファイルがついている場合には、特に注意が必要です。また、標的型攻撃の特徴として、世間で流行する話題に便乗するという傾向があり、現在、世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスの話題は、攻撃者にとって恰好のネタとなっています。これを受けて、厚生労働省は注意喚起を発表しました。**実在する組織である国立感染症研究所に類似した機関を装ったメールも出回っており、注意を呼び掛けています。**



↑こちらより全文を確認いただけます。
※参照元：厚生労働省

“**給付金**”に関する 不審メールに注意

5月12日、JC3(日本サイバー犯罪対策センター)が、新たな注意喚起を公表しました。新型コロナウイルスの影響を受け、政府が緊急経済対策の一環として発表した給付金が、5月1日よりオンライン申請可能となりました。これに便乗した不審メールが確認されており、注意を呼び掛けています。**大手通信会社や運送系企業を騙り、給付金を申請するためのURLをクリックさせようとしています。**URLのリンク先には、氏名、銀行名、口座番号等を入力するよう促すウェブページが表示されます。

💡💡💡 不審メールのポイント 💡💡💡

右記の実際のメール事例を見てみると、“お申し込みは4月末まで”“お受け取り期限は本日から3ヶ月以内”等、期日を設定し、急がせてURLをクリックさせようとしています。その一方で、件名の末尾に『。』と表記されていたり、違和感を感じる文章となっています。期日が記載されている場合でも慌てずに、送り先の**メールアドレス、件名、本文**を確認するようにしましょう。

▼実際のメール事例（一部抜粋）

件名：
『お申し込みは4月末まで』一律10万円給付。。

本文：

▼お申し込みはコチラ▼

(口座等の個人情報を搾取するためのURLを表示)

〇〇をご利用のお客様にご案内

日本国民の皆様にご案内。給付金10万円の受け取り資格がございます。

感染拡大防止のため〇〇をご利用のお客様は、上記のURLからお申込みして頂く事が決定いたしました。

お受け取り期限は本日から3ヶ月以内。銀行振込でのお受け渡しとなっております。

疑問点やご相談なども上記のURL内から行う事が可能となっておりますので、ぜひお早めにアクセスください。

何卒よろしくお願ひいたします。

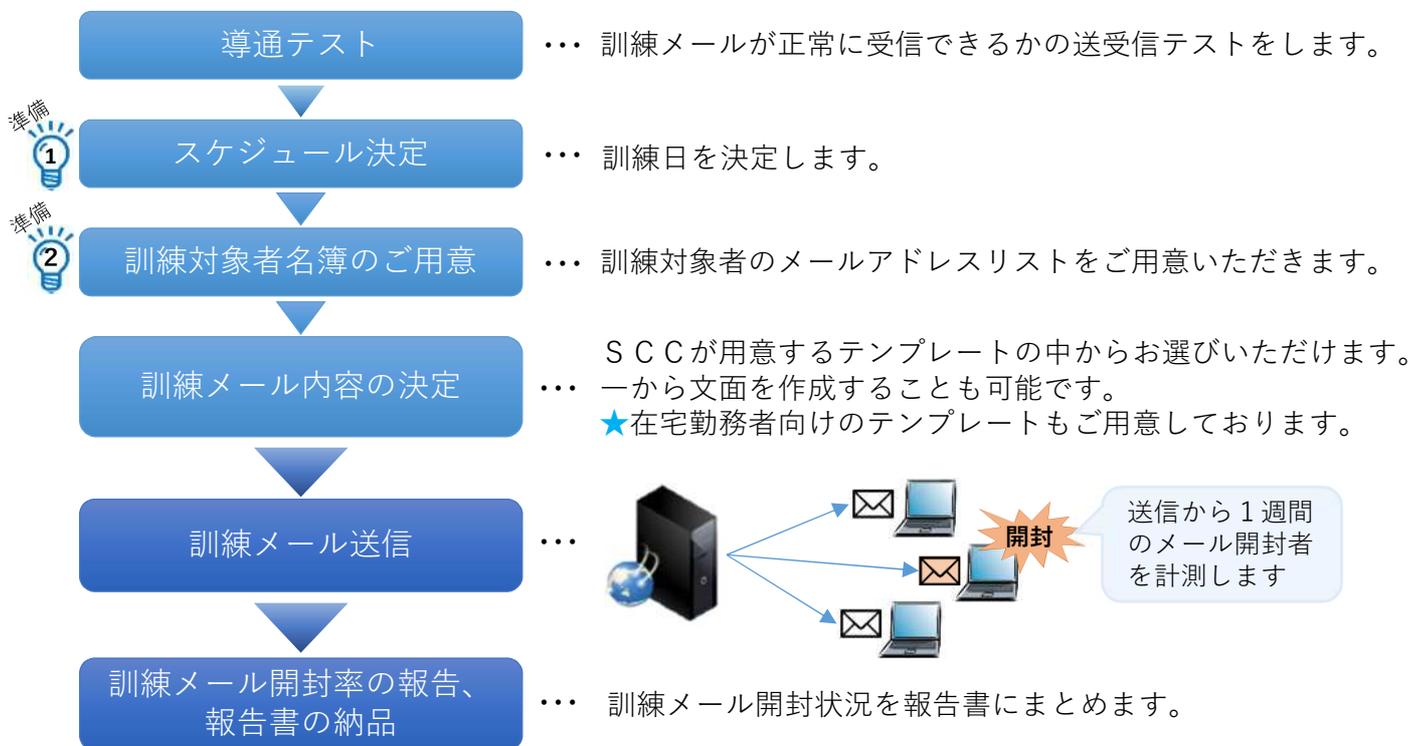
※参照元：JC3（一般社団法人日本サイバー犯罪対策センター）

こうした標的型攻撃の被害にあわれる前に、SCCの「**標的型攻撃メール対応訓練**」で従業員のセキュリティ教育を実施しておきませんか？

➔ **訓練の詳細は裏面へ**

SCCの標的型攻撃メール対応訓練

SCCの実施する標的型攻撃メール対応訓練（メール訓練のみ実施の場合）の工程は以下のとおりです。お客様には「💡 実施スケジュール」と「💡 名簿」をご準備いただくだけで、ご負担を少なく訓練をすることができます！ また、事前の打合せは基本的に全てメールで行うため、遠方のお客様も支障なく訓練が可能です！



その他、標的型攻撃メール対応に特化した情報セキュリティ教育やアンケートの実施も可能です。各社でご自由に編集していただけるeラーニングコンテンツ(PPT)の販売もしております。

訓練の効果

- ✓ **実体験を通じた有効な注意喚起となる**
 - ・ 不用意に添付ファイルを開けてしまったので、自らの注意喚起に役立った。
 - ・ リスク感度を高めるためにも、定期的の実施してほしい。（同様意見多数）
- ✓ **不審メール受信時の対応手順の再確認のきっかけとなる**
 - ・ 対応要領（手順等）の再確認ができ、大変良かった。
- ✓ **ウイルス感染による被害(事業活動の停止、社会的信用の失墜)を想起させる**
 - ・ 添付を開いた瞬間「しまった」と「訓練で良かった」と同時に感じた。

訓練実施会社

株式会社 SCC

教育システム部 セキュリティ教育グループ

〒164-8505 東京都中野区中野5-62-1

TEL/ 03-3319-6614 E-mail/ manabi@scc-kk.co.jp

<https://www.scc-kk.co.jp/education/>

お問い合わせ